NEWS　RELEASE
SHOKO CHUKIN BANK

商工中金

2026年10月1日
商　工　中　金

地域金融機関と協調し、リチウムイオン電池製造設備を手掛ける丸井産業株式会社に対し、ポジティブ・インパクト・ファイナンスでサポート

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕、以下「商工中金」）の**徳島支店**は、**丸井産業株式会社**（本社：徳島県阿南市、代表者：住友 達也）に対し、サステナブル経営に必要な資金として1億円を、**阿南信用金庫**（※1）と協調して融資しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※2）を適用しています。

※1 商工中金は、阿南信用金庫と2026年9月に「サステナブルファイナンス業務における連携・協力に関する覚書」を締結しています。なお、本件は同金庫との同覚書に基づくサステナブルファイナンスの1号案件です。

同社は、リチウムイオン電池をはじめとする各種電池の製造設備や省力機械の設計・製作を手掛けています。設計から製作、組立、据付調整まで一貫して行うことで、多様な顧客ニーズに柔軟に対応しています。

今回同社は、省エネルギー設備への切り替えによるCO2排出量削減や、従業員エンゲージメント向上の取組み等を通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関するKPI（注）を設定しました。これにより経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上も実現していきます。

(注)同社KPI詳細は、商工中金HP掲載の「ポジティブ・インパクト・ファイナンス**評価書**」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【丸井産業株式会社の概要】

所　在　地	徳島県阿南市那賀川町手島榎瀬42
代　表　者	住友 達也
資　本　金	2,000万円
従 業 員 数	47名（2026年6月時点）
設　　立	1961年7月
業　　種	産業用機械製造業



【今年完成した同社新工場】

（※2）**「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について**

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして㈱日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

